

「紙切り」とは



紙とはさみを使って、様々な絵柄を作っていく日本の伝統芸能です。江戸時代に宴席の余興として披露されたことが始まりで、明治時代には芸能として確立されました。お客さんの注文を受けて絵柄を切るという即興性もあり、下書きなしの真っ白な紙にはさみを入れて、あっという間に作り上げられる作品はまさに芸術です。言語の壁を越えて楽しめることから、海外でも人気となっています。

紙切りをやってみよう！

観て楽しい！やって楽しい！「紙切り」の魅力を大公開！落語協会所属の「林家楽一」氏を講師にお招きし、いくつかの題材を練習した後、発表会にて高座に上がり1作品を作成していただきます。（複数人同時に高座に上がっていただく予定です。）

最後には、講師による紙切り公演も行います。日本の伝統芸を楽しく体験してみませんか？



講師 / 林家 楽一

1980年神奈川県横浜生まれ。2001年に三代目林家正楽へ入門、2008年に初高座を踏む。2015年に落語協会に入会。鈴本演芸場、新宿末廣亭、浅草演芸ホール、池袋演芸場などの寄席定席のほか、全国各地で開催される寄席へも数多く出演。「川柳うたた寝帳」（読売新聞）では話題の人物や出来事を切り、コラムに添えている。

会場案内

浅草文化観光センター (台東区雷門2-18-9)

- 東武スカイツリーライン 浅草駅 徒歩5分
- 東京メトロ銀座線 浅草駅(出口2)から徒歩1分
- 都営浅草線 浅草駅(A4出口)から徒歩2分
- つくばエクスプレス 浅草駅(A1出口)から徒歩10分
- 都営バス 浅草雷門
(系統によって駐車場所が異なります)
- 台東区循環バスめぐりん
 - ・東西めぐりん 33番雷門前から徒歩1分
 - ・北めぐりん 1番浅草駅から徒歩5分
 - ・ぐるーりめぐりん 17番浅草駅から徒歩5分

